

うしお

共同募金受配施設

社会福祉法人 竜雲学園
うしお編集室(087)889-0724

再第87号

平成二十八年四月一日、社会福祉法人竜雲学園五十二年目の辞令伝達式がありました。式において理事長は四国新聞の『日三言』より、作詞家の阿久悠さんが、一九九六年（平成八年）の夏の甲子園に出場した高松商ナインに贈った名詞「伝統は引きずるほど重いし、歴史も肩が凝る古豪と呼ばれることも…… 歴史や伝統もなかなかのものだと感じてほしい」云々の記事を引かれて伝統について話し、続けて、「私たち竜雲学園の伝統



竜雲学園 常務理事
細井 俊道

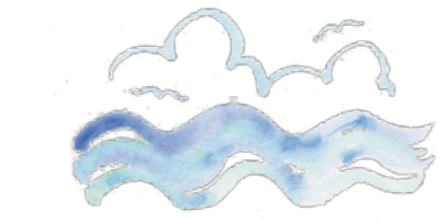
平成二十八年四月二日

は、昭和四十年四月知的障害を持つ子どもの施設として開設され、園児たちが成長し、大人へとなつてゆくに従い、昭和五十年代には、竜雲少年農場（当時精神薄弱者更生援護施設）や竜雲かしのき園（当時精神薄弱者通所授産施設）を、平成に入り、竜雲あけぼの学園（以前の子ども施設から当時精神薄弱者授産施設）の開設、平成五年には特別養護老人ホーム竜雲舜虹苑を地域のニーズにより開設してきました。等々、守ることだけや

そこに留まることをせず、変化を以て応えてきたことだと。」と挨拶されました。私もその通りだと思いました。この考え方は、仏教の「般若心経」というお経に説かれています。「色即是空空即是色」はご存知かと思えます。空の思想を説くのですが、空の思想というものは、あらゆる固定観念を否定していきま

人たちの青はどこにもないけれども、究極の青の世界がある、という青を歌った歌です。ところが、地中海の広がるイタリアの青は、底が抜けたようになっているのです。青というものがあるれば、それを突き抜けて青がある。底抜けの青。とありました。これは固定化した絶対的なものをも突き破っていくという考え方です。まず竜雲学園のこれからを考えていく中では、この伝統を大切にしなければなりません。また、超えていくには、竜雲学園がわからないと、深まりようもないのです。定年を迎えた二人の施設長が三月末で退職しました。新施設長が任命された体制で、竜雲学園を

の行動を起こしていかなくてはと思つてます。世の中すべて自分と相手と考えられます。相手とは自分以外のすべてです。人であったり、物であったりです。そして、自分も楽しく、相手を活かして相手も楽しくなるよう心掛けて仕事をしていきたいと考えています。



助成報告

ALSOKありがとう運動

施設名 ●特別養護老人ホーム竜雲舜虹苑
デイサービスE型事業所
事業内容 ●総合警備保障株式会社様から車両1台を寄贈
寄贈車両 ●トヨタ エスクアエア
7人乗り 1台
納車日 ●平成28年3月9日



平成27年度 日本財団福祉車両助成事業

施設名 ●障害者支援施設 竜雲少年農場
事業内容 ●車いす対応車(車いす2名)の整備
整備車両 ●日産キャラバンチャェアキャブ10名乗り(車いす2名+8名)1台
事業費 ●2,628,000円
助成金額 ●2,100,000円
事業完了日 ●平成28年3月10日



職場定着支援助成金(介護福祉機器等の導入費に対する助成)事業

施設名 ●障害者支援施設 竜雲少年農場
事業内容 ●シャワーキャリー、介助用バスタブ、車椅子仕様体重計の購入
事業費 ●2,126,680円
助成金額 ●919,160円
事業完了日 ●平成28年1月28日



平成27年度香川県共同募金会

施設名 ●就労支援事業所 竜雲かしのき園
事業内容 ●カラオケセットの購入
事業費 ●96,810円
助成金額 ●90,000円
事業完了日 ●平成28年3月23日



平成27年度 寄付報告

ご寄付ありがとうございました。
(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

- 後藤設備工業株式会社 様
- 浄土宗南海教区青年会 様
- 浄土宗南海教区 様
- 氷上屋燃料店 様
- 竜雲学園うしお会少年農場部会 様
- 上田 庄一 様
- 平井 富代 様
- 福山 早苗 様
- 溝渕 博 様
- 山本 喬子 様

竜雲学園後援会総会のご案内

第32回竜雲学園後援会総会を下記のとおり開催いたします。会員皆様の多数のご出席をいただきますようご案内申し上げます。

日時 平成28年6月4日(土)
受付 10時30分から
総会 11時 開会
会場 法然寺 本堂

編集後記

竜雲舜虹苑 介護主任 U

先日、桜の開花宣言が発せられ、舜虹苑の桜のつぼみも膨らんできました。皆様如何お過ごしでしょうか。今年はおリンピックが開催される年ということでも、各スポーツ大変盛り上がりつつあります。卓球・体操など日本人選手の活躍が毎日のように報道されています。毎回、オリンピックでは数々の感動があります。皆様の記憶に残るオリンピックは、いつ行われたかの競技でしょうか。私の一番は12年前に開催されたアテネオリンピックの男子体操です。長男の授乳の為、夜中にテレビをつけると男子体操の団体競技の映像が流れていました。最終種目の鉄棒で日本キャプテンの富田選手が力強く美しい競技を行い、NHKアナウンサーが「伸身の新月面が描く放物線は栄光の掛け橋だ!!」と興奮気味に実況していたことを思い出します。今年の夏も日本選手の活躍に大いに盛り上がり、感動を共有したいと思つています。

芸術の秋の頃、ぼだいじゅ(生活介護)では油絵にチャレンジしました。

これまで創作活動では、壁面飾りなど園内での展示がほとんどでした。そんな時、福祉協会様から『第18回とつておきの芸術祭 in 香川2015』の案内を頂きました。

『障害のある方の、心を打つ優れた作品を公開しみんなでアートを楽しみふことのできる場』ということでしたので、早速利用者様全員で描き始めました。



生活支援員

渡邊 力斗

●多機能型事業所 ぼだいじゅ
とつておきの芸術祭
in 香川2015



皆様、油絵を力強くそして繊細に描かれ、時には筆だけではなく指で描かれるなど、自由にそれぞれの個性を表現されていました。

完成した皆様の作品はどれも素晴らしく、芸術そのものでした。

障害者福祉サービス事業所ミルキーウェイにて絵画部門で展示され、期間は11月28日(土)～11月30日(月)でした。たくさんの方の応募の中、見事入賞された利用者様もおられました。29日の表彰式に参加された方は、緊張された面持ちで賞



制作中！
みんな真剣です。

はい、完成♪



ぼだいじゅにて
表彰式



展示された作品



銀賞受賞。
がんばりました！



ミルキーウェイにて

状、記念品を受け取られ、とても喜ばれていました。

作品を通してそれぞれの個性、感性を見つけ出す事が出来、利用者様、保護者様、職員にとつてもとても良い機会になりました。

今後もこのような催しに参加し、利用者様に芸術を楽しんで頂きたいと思えます。

●障害者支援施設 竜雲あけぼの学園
日中活動



生活支援員

西尾 典子

今回は、あけぼの学園での日中活動についてご紹介したいと思います。

あけぼの学園では、大きく製麺班・花班・環境整備班の3班に分かれて作業を行っています。

製麺班では、主に就職を目標に、製麺作業を通して仕事を行うべく上でのマナー、基礎を学んでいます。花班では、法然寺に参拝・お墓参りに来られた方のために、仏花の栽培・販売を、環境整備班では、その参拝・お墓参りに来られた方が、気持ちよくお参りして頂けるよう環境

内の掃除を行っています。

どの班も、お客様からのお礼の言葉や、ねぎらいの言葉が、作業のやる気に繋がっています。

日中の作業だけではなく、利用者様の楽しみとしてレク活動も行っています。メイク教室や料理等を通して、利用者様の新しい一面を見ることが出来ます。今年度も利用者様と、季節を感じながら楽しく日中活動に取り組んでいきたいと思えます。

製麺班 みんなで勉強会

うどんを伸ばすのに、力が入ります！！

環境整備班

参拝の方が使う階段は、いつも綺麗に…

花班 喜んで頂ける仏花をみんなで作っています。

秋は落ち葉がたくさん！！

レク活動

メイク教室

スイートポテト作り

皆さんは瀬戸内国際芸術祭をご存知でしょうか？3年に1度開かれる瀬戸内海を舞台とした国際芸術祭で、全国ニュースでも取りあげられる事も多く、実際に行ったことがある方も少なくないのではないのでしょうか。今回、そのパートナーシップ事業として位置づけられる山なみ芸術祭の舞台に少年農場が選ばれ、造形ワークショップデザイナー浅見俊哉氏指導の下、利用者様も作品作りに取り組みました。

まず、特殊な薬剤を染み込ませて乾かしたB4サイズ程の旗の上に物を置き、太陽の光を10分程当てます。その後、水で軽く洗うと光が当たった部分が紫外線と反応して美しい藍色に染まります。光が当たっていない部分は白くなり、青と白のコントラストが美しい旗が仕上がります。広げられた旗の上にはミカド、メガネ、怪獣のフィギュア、ラジカセなど個性豊かな物が並べられています。また、つくしや花など農場で生えている植物、自分の手足を素材



生活支援員
小川 愛子

山なみ芸術祭

●障害者支援施設 竜雲少年農場



にして焼き付けを行う利用者様もおられました。10分間の焼き付け後、旗を水で洗うと、影のシルエットがはつきりと浮かび上がり「わあ、これ私のや！」と驚きの声があがっていました。ひだまり広場の端から端へロープをくくりつけ、そこへ旗を乾かす為に1枚ずつ結んでいきました。広場を吹き抜ける穏やかな風によって青空にも劣らない程に美しい旗たちがそれぞれなびいており、利用者様と二階に見入っていました。

この新聞が出る頃には山なみ芸術祭が大成功したというニュースが皆様の耳に入っていると思います。



思い思い物をのせていきます



自分の手も素材にします



薬剤を洗い落します



青空になびく
綺麗な旗になりました



シルエットが綺麗に浮かび上がりました

Let's クッキング!!



生活支援員
都築 辰弥

かしのき園では、祭日や土曜日を利用して月に1回程度余暇活動を行っています。バーベキューやクリスマス会など恒例行事もあります。が、毎年一つは新しいことを取り入れています。今回は初の試みである『調理レク』をご紹介します。初めてということで、定番のカレーライスを作っていたきました。5〜6人で一つのグループになって協力して作ります。材料を切ったり剥いたりするのは、皆さんお手の物。カセットコンロを使って

『炒めて』『煮て』『味付け』するのは...?とちよっぴり心配していましたが、炒めるときは油が飛び散らないようにそっと材料を入れたり、お水を計量カップできちんと計って入れたり...。丁寧ないろいろな工夫しながら、何より楽しんで作ることができました。カレーを煮込んでいる間にサラダも作って、オリジナルカレーの完成です!!皆さん口々に「おいしい!」「うちのグループのほうがおいしい!」等歓談しながら、自分で作ったランチに大満足さ

れていました。大好評だったので、今年度は2〜3回の『調理レク』を計画しています。今度は何を作りましょうか??



みんなで協力して...



材料を切ったり剥いたり...



いただきま〜す!



できあがり♪



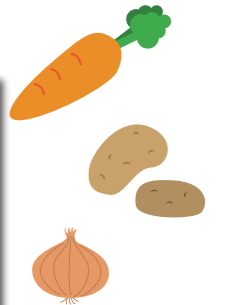
サラダの準備もOK!



おいしい♪



大成功!!



このたび竜雲少年農場の施設長に就任することになりました。

竜雲少年農場は本年開設40年を迎え、開所当初から利用されている多くの利用者様の高齢化を迎える対応に追われている状況にあります。それはまだ序章に過ぎず今後ますます高齢化に拍車がかかる状況下、その職責の重さを痛感しております。

浅学非才ではありますが、共に働く大切な存在の職員の方の力を仰ぎ、誠実に、ただ誠実に努めてまいりたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



竜雲少年農場
施設長 田村 正貴

新施設長就任のお知らせ

この度、竜雲舜虹苑の施設長を拝命いたしました。

高齢者福祉事業を取り巻く環境は変化の連続で、ハード面ソフト面において対応に追われる中、施設長という大役を仰せつかり職責の重さを痛感しております。

利用者様やご家族様、地域の皆様にも「竜雲舜虹苑があつて安心」と言つて頂けるよう笑顔と感謝を忘れず、微力ではございますが、職員と共に努めてまいりたいと思ひます。今後共にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



竜雲舜虹苑
施設長 川原 江美

平成27年度 資格取得者 紹介

介護福祉士

竜雲舜虹苑 大本 徳子
竜雲舜虹苑 小河 真理
竜雲少年農場 江口 憲太郎
竜雲少年農場 伊澤 章弘

平成28年度 新職員紹介

竜雲少年農場生活支援員 橋村 彩
竜雲少年農場生活支援員 緒方 正宣

私は、相手の気持ちを尊重し、利用者様とコミュニケーションを図っていきたいと考えています。利用者様一人一人経験や考え方が違いますので、私自身の考えを押しつけるのではなく、その方に合った対応を心がけていきます。

私の取り柄は、元気で明るいことです。その取り柄を活かして利用者様への心配りと笑顔を絶やさず努力し、信頼していただける職員となれるよう先輩方から日々学び、責任と自覚を持つて所懸命頑張ります。

竜雲少年農場生活支援員 福家 都子
竜雲舜虹苑介護職員 山下あゆみ
竜雲舜虹苑介護職員 本 まどか

私は笑顔が長所です。皆様笑顔になれるように明るく元気よく働けたらと思います。たくさんの方の事を吸収し、成長していきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

この春から正規職員として働かせていただくことになりました。私はコミュニケーション力と体力には自信があります。ほかの職員やご家族様としっかりとコミュニケーションをとり、連携しながら利用者様の生活援助に努めていきます。

未熟な点が多いですが、毎日笑顔で楽しく過ごすことを忘れず、利用者様に信頼していただくこと、希望に沿ったサービスが提供できるように頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。

竜雲舜虹苑介護職員 谷本 優花

●竜雲舜虹苑
常食化に向けての
取り組み



ケアワーカー
小西 里奈

竜雲舜虹苑では、常食化に向けての取り組みとして、毎月イベント食を実施しています。イベント食の目的は、旬の食材を使い季節を感じて頂くこと、一緒に簡単な調理を行うこと、コミュニケーションを図ること、五感の刺激・食欲増進です。イベント食の効果として食事形態の見直しにも繋がっています。

利用者様方はイベント食を通して昔のことを思い出され、利用者様同士の会話も弾みます。夏には流しそうめん

ん、年末には寄せ鍋もしました。そして、2月には打ち込みうどん汁を作りました。その際に「懐かしい味!」私の家はこんな味だった。」などと笑顔で話されていました。また、カレーを作った時には「水入れすぎ!」みんなで作ったから美味しい。」おかわり!」という言葉も頂きました。

普段あまり食事がすすまない方でも、イベント食の時にはお箸がすすみ沢山食べて下さっています。

今後も利用者様から

食べたいものなどをお聞きし、イベント食を続けていきたいと思ひます。

具だくさんの打ち込みうどん

ホクホク炊き込みご飯

新鮮な野菜でかき揚げ

流しそうめん 下まで流れてこない

さすが主婦! 華やかな包丁さばき

忘年会はやっぱりよせ鍋でしょ!!